

地歴公民（公共） 普通2年6組 学習指導案

令和6年11月7日（木）6校時 合併教室 指導者 赤島資佳

1 単元名

第4章 私たちの職業選択 テーマ1 働くことの意義と職業選択

1 働くということ 2 多様な職業選択

2 単元の目標

- ・働くことの意義や職業選択の機会の多様化について、産業社会の発達と変化を踏まえて考察する。
- ・これからのキャリア形成に必要な力について、他者との協働を通して理解を深める。

3

(1) 本時の目標

- 知識・技能：企業が新入社員に求める資質・能力から、社会で求められる資質・能力について理解できる。
- 思考・判断・表現：新入社員採用の基本方針についてプレゼン資料を作成し、プレゼンを行うことができる。
- 主体的に学習に取り組む態度：他者からの評価を受け、自己を客観視し分析を行い、成長と改善につなげることができる。

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援	評価基準及び評価方法
1 本時のめあてを確認し、身につけたい(意識したい)力(iC)を選択する。	本時のめあてを伝え、身につけたい(意識したい)力(iC)を選択させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて</p> <p>①これからのキャリア形成に必要な力が何か、あなたの考えを述べるができる。</p> <p>②①の力を身につけるために今できることは何か、明確にすることができる。</p> <p>iC(iコンテナー) 各自で設定</p> <p>探究の6段階 →03 調査・研究 →04 結果の処理 →05 考察 →06 発表</p> </div>		
2 採用担当者としてプレゼンを行う。入社希望者としてプレゼンを聞き、質疑応答を行う 05-06	プレゼンの留意点について、PP ルーブリックを用いて説明をする。 タイムキーパー、質疑応答の指示などを適宜行う。	I：プレゼン資料 II：発表の様子 (基準：PPルーブリック)
3 PPルーブリックに基づき評価を行う。	全員のプレゼンが終わったら、iCの振り返り(自己評価)をする指示をする。	III：振り返り内容(自己の客観化ができているか)
4 PPルーブリックを参考にしてiCの振り返り①(自己評価)を行う。グループメンバーの振り返りに対する評価を行う。	振り返りの指示をする。 グループメンバーのiCに対して評価をする指示をする。	III：他者の振り返りに対する評価(他者に対する評価が適切であるか)
5 チャットルームでの意見交換を行う。 05-06	チャットルームでの意見交換を行う指示をする。	I：チャットルームでの発言内容が根拠ある内容であるか。 (基準：根拠資料)
6 スパイダー討論を行う。 05-06	スパイダー討論の指示をする。	II：チャットルームでの発言内容が適切な表現であるか。 (基準：iCルーブリック)
7 グループ間で話した内容の共有を行う。(ペリカンタイム) 05-06	グループ間で話した内容を共有する指示をする。	思考・判断・表現 (まとめ・表現)
8 まとめ 05-06	株式会社ベネッセコーポレーション 菅原 麻由果 様による講評	

◎おおむね満足できる状況(B)と判断する姿の例 主体的に自己と他者を客観視することができる。